



当事者への心理教育

～急性期治療病棟での取り組み～

「自分達が実践している心理教育プログラム、本当に役に立っているかな？」と思うこと、ありませんか？

今回は、当事者心理教育プログラムを実施している、みどりの風 南知多病院の方から報告をいただき、看護師セッションのデモンストレーションを通して、当事者心理教育で何を大事にしていくかを考えてみたいと思います。なお、当日会場から参加者役の方を募る予定にしています。是非、実りのある会になりますよう、ご協力をお願いいたします。

日時

2016年10月9日(日)

13:30～16:00 (受付 13:00～)

場所

名古屋市立大学看護学部棟 3階 301 教室

参加費

1000円

申し込み

不要

【内容】

1. 講演 「患者ご本人への心理教育とはどのようなものか」
香月富士日先生 (名古屋市立大学看護学部教授)
2. 報告：みどりの風 南知多病院における当事者心理教育プログラム
坂口肇 (みどりの風 南知多病院 看護師)
3. デモンストレーション
「もしもお薬の飲み忘れに気づいたら・・・!？」

問い合わせ

名古屋市立大学看護学部精神保健看護学 香月富士日

Tel 052-853-8048

E-mail: katsuki@med.nagoya-cu.ac.jp